

第1回北広島市商工業振興審議会 議事要録

1 日時 平成28年1月28日(木) 16時30分から17時40分

2 場所 北広島市役所本庁舎2階会議室

3 出席状況

No.	氏名	職業等	出欠
1	(副会長) 藤山 康雄	北広島商工会会長	出
2	山田 久俊	北広島商工会副会長	出
3	丹野 司	北広島市工業振興会会長	出
4	(会長) 河西 邦人	札幌学院大学経営学部教授	出
5	長島 博子	北広島消費者協会会長	出
6	千葉 裕美	市民(主婦)	出

北広島市商工業振興審議会事務局

所属	役職	氏名
経済部	部長	藤木 幹久
経済部	次長	斎藤 秀樹
経済部商業労働課	課長	吉田 智樹
経済部工業振興課	主査	笹原 拓己
経済部商業労働課	主査	宮本 大介
経済部商業労働課	主査	山田 基
経済部商業労働課	主任	青木 潤

傍聴者

人数
0人

4 議事録

1. 開会

・事務局

6名の委員の皆様が全員出席。委員の過半数を超えており審議会成立を報告。
委嘱状交付。

2. あいさつ

・上野市長

皆様こんばんは。本日は大変お忙しい中、第1回目の北広島市商工業振興審議会を開催させていただきました。お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。委員の委嘱にあたりまして快く委員のお引き受けをいただきましたこと、重ねてお礼を申し上げます。又、日頃から市政全般に渡りまして大変なご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝を申し上げます。

商工業活性化の指針となる商工業振興基本計画につきましては、平成23年に多くの市民の皆さんのご意見を伺いながら作成をし、その計画に基づきまして事業の実施をしているところであります。毎年、東洋（経済）新報社と言うところが「住みよさランキング」と言うことで全国の813の市・区のランキングを発表しているところであります。これはそれぞれの町の財政の健全化度、また成長力、民力度等ですね、様々な指数を点数、数値化して、ランキングを発表しているところであります。成長力と言うものにつきましてはその町の人口、世帯、事業所の数、従業員の数、また新築の戸数等をですね、様々なこの指数に基づいてですね、特にあのその中で産業指数と言うものがあります。これは事業所の数だとか従業員の数、製造出荷額、また卸売、小売販売額をですね、統計書から基づいた数値を産業指数と言う風にしております、実はあの平成26年は全国で12位でありましたけれど、27年度につきましては、この指数が全国1位になっているという事でありまして、住みよさにつきましても2年連続で北海道1位になっているという事になっておりまして、大変喜ばしいことではないかなと言うふうに思って、しかしながら全国的に少子高齢化、人口減少の時代に入っております、社会情勢の変化等、商工業を取り巻く環境は様々な課題が出てきているところであります。

商工業振興基本計画は10ヵ年でありますけれども、中間年と言う事でありまして、この計画の進行管理、また評価について、見直しにつきましては、皆様方には大変ご苦勞をおかけしますけれども、審議を願いたいという事でありますので、よろしくお願いを申し上げます。今日はどうもありがとうございました。

3. 審議会委員の紹介・事務局の紹介

4. 会長及び副会長の選出

・事務局

商工業振興基本条例第13条第1項に基づき、会長及び副会長を委員の中から選任。

事務局案の承認により札幌学院大学の河西委員を会長、商工会会長の藤山委員を副会長

にとする。

5. 諮問

市長より商工業振興基本条例第11条第2項の規定に基づき、河西会長に商工業振興基本計画の見直しにかかる審議を諮問。

市長は他の公務のため退席。

6. 議事録署名委員選出

会長により長島委員を指名。

7. 議事

以降は会長による議事進行となる。

(1) 議案1 審議会の運営について

- ・事務局
資料に基づき事務局から説明。
事務局案が承認される。

(2) 議案2 審議会の公開について

- ・事務局
資料に基づき事務局から説明。
事務局案が承認される。

(3) 議案3 審議会の調査、審議事項について

- ・事務局
資料に基づき事務局から説明
事務局案が承認される。

(4) 議案4 これまでの取り組み状況について

- ・事務局
資料に基づき事務局から説明

・会長

これまでの計画の報告の中で、なにかご質問などございますか？

・委員からの意見、質疑 ※委員からの意見質疑⇒○ 事務局回答●

○基本計画の見直しは本来、毎年行うのか。

●点検は毎年行う予定ですが、見直しは中間年のみになります。

○具体的にはどのような見直しを行うのか。

●計画策定時から経済情勢や社会情勢が変化している中、当時の状況下で継続していく事業や今後取り組むべき事業が計画上に記載されています。現在の状況下に即して見直すべき事業又は新たにに取り組むべき事業の追加と言った視点で審議をしていただきたいと思います。

○計画の中の「今後取り組むべき事業」とは何を意味しているのか。

●5年前の計画策定時に、現在は実施していないが、実施を予定又は実施をすれば効果が出るのではないかと書いた事業を記載しています。この5年間で実施された事業もあれば、現在まで未実施の事業もあります。

○表現が当時の「既存」「今後」となっていて時系列的に分かりにくい

●計画上の記載なので同じ表現にさせていただいています。今後の説明の中で都度解説させていただきます。

8. その他（次回開催について など）

次回開催は2月15日月曜日、18時00分として決定する。

9. 閉会

（終了）17時40分

議事録署名委員
